

## 第9回年会報告

### [招待講演] (敬称略)

- ・菅裕明 (東京大学大学院理学系研究科)  
「特殊ペプチド創薬と擬天然物創薬」
  - ・Carsten Schultz (Cell Biology & Biophysics Unit, EMBL Heidelberg)  
「Tools for Manipulating Cell Biology」
  - ・熊ノ郷淳 (大阪大学大学院医学系研究科・呼吸器免疫アレルギー内科)  
「セマフォリンは疾患の鍵分子」
  - ・Zhen Xi (State Key Laboratory of Elemento-Organic Chemistry and Department of Chemical Biology, Collaborative Innovation Center of Chemical Science and Engineering, Nankai University)  
「QSAR on Biomolecular Interactions」
- 村田道雄<sup>1,2)</sup>、松岡 茂<sup>1)</sup>、松岳大輔<sup>1)</sup>、原 利明<sup>1)</sup>、廣瀬未果<sup>1)</sup>、杉山 成<sup>1)</sup>  
1)JST, ERATO脂質活性構造プロジェクト、2)大阪大学大学院理学研究科化学専攻  
「脂肪酸結合タンパク質の基質選択性と許容性」
- ・岩田想 (京都大学大学院医学研究科・理化学研究所放射光科学総合研究センター)  
「膜蛋白質構造研究とその創薬への応用」

### [ポスター賞] (敬称略)

- ・松本 咲 (大阪大学産業科学研究所)  
「小分子によるリボソームフレームシフトの制御」
- ・津田 雄介 (徳島大学大学院薬科学教育部 ヘルスバイオサイエンス研究部)  
「天然アミノ酸配列に適用可能な新規タンパク質チオエステル合成法の開発」
- ・森山 彰博 (京都大学大学院薬学研究科)  
「生体膜を標的とする天然物の作用機序解析を指向したLiDEL法の開発」
- ・米田 耕三 (筑波大学 数理物質科学研究科)  
「タンパク質-リガンド相互作用を解析する新しいケミカルプローブの開発」
- ・関 陽平 (東京大学大学院薬学系研究科)  
「セリン選択的酸化的ペプチド鎖切断法」